

日本外交文書

一九三五年
海軍會議經過報告書
ロンドン

外務省

序

近代日本の対外関係の展開を示す基本史料である『日本外交文書』は、昭和十一年に明治元年の第一巻を公刊して以来、大正期も完結に近づきつつある。

さらに当史料館では、一般の要望に應えるため、大正期と並行して昭和期の外交文書編纂を鋭意進めてきたが、すでに「満州事変」全七冊の刊行を終了し、これに続く特輯として、「海軍軍縮会議」関係の一連の文書を編纂しており、このたび「一九三五年ロンドン海軍会議経過報告書」を刊行する運びとなった。

本書は、当時外務省で作成した同会議の経過を詳述した調書を復刻するものであり、さきに刊行した「一九三五年ロンドン海軍会議」において、外務省記録欠落のため載録できなかった訓令電報その他重要な原文書の補填として意義をもつものである。

本書の刊行をもって一応、一九二七年ジュネーヴ海軍会議より、一九三〇年ロンドン海軍会議を経て、一九三五年ロンドン海軍会議までの、昭和期「海軍軍縮会議」シリーズ全八冊を完結した。

なお同シリーズは次のとおりである。

- (一) ジュネーヴ海軍軍備制限会議
- (二) 一九三〇年ロンドン海軍会議 上
- (三) 一九三〇年ロンドン海軍会議 下

- (四) ロンドン海軍會議經過概要
- (五) 海軍會議予備交渉・条約説明書
- (六) 海軍軍備制限条約枢密院審査記録
- (七) 一九三五年ロンドン海軍會議

(八) 一九三五年ロンドン海軍會議經過報告書

軍縮問題が最近重要視される折柄、本特輯が、海軍軍縮問題の歴史的研究のみならず、ひろく軍縮問題の解明に寄与し、かつ、激動の時代と称せられる昭和期日本の対外政策とこれをめぐる国際環境について、正確な史実を提供し、内外の外交問題研究者の研究に資するとともに、今後のわが国外交政策の樹立にあたって何らかの貢献をなしうれば幸いである。

昭和六一年十一月

外務省外交史料館長

一九三五年ロンドン海軍會議經過報告書

目次

一 昭和九年倫敦海軍予備交渉經過……………	一
二 軍縮問題ニ関スル帝国代表及在外使臣ノ新聞記者ニ為セル談話……………	九九
三 昭和十年倫敦海軍軍縮會議帝国全權復命上奏文及報告書……………	一八一
四 帝国脱退後ニ於ケル倫敦海軍會議ノ經過及諸案件……………	二七三

付録 ワシントン海軍條約關係条文

- (一) 海軍軍備制限ニ関スル條約
- (二) 海軍軍備制限ニ関スル條約説明書
- (三) 潜水艦及毒瓦斯ニ関スル五國條約
- (四) 潜水艦及毒瓦斯ニ関スル五國條約解説概要